



商工会女性部
ロゴマーク

ほいそみ

誓いの言葉

- 一、わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展の良き協力者であるとともに、推進者となります。
- 一、わたしたち商工会女性部は、商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります。
- 一、わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に務め、豊かなまちづくりの担い手となります。



商工会女性部の手で

「地球と子供に愛を」

県女性連会長 原田 重子



昨年の東日本大震災には、県下女性部員より、多大な義援金と「ぽかぽかプロジェクト」企画で支援物資のご協力を頂き、ありがとうございました。

この大震災に、被災地の商工会はもとより、いち早く協力体制に入った全国の青年部・女性部の、寝食を忘れて復旧・復興のために頑張った姿を見るにつけ、部員の強い絆を感じると共に、商工会の会員である事を誇りに思いました。

今だ津波による壊滅的な被害、原発事故による避難生活、また風評被害と、事業再開の目途もたないまま途方に暮れ苦しんでいる会員が多数いることに、どうしようもないいらだちを感じています。私たちも無理をせず、自分達でできる事を協力していきましょう。

商工会女性部全国組織化四十五周年記念事業で、全国統一

キャンペーン「エコキャップ回収事業」に取り組みました。

「地球に愛を 地球環境の改善 子供に愛を 世界中の子供にワクチンを届けよう」国際社会貢献に沢山のご協力をいただきありがとうございました。

さて、三年目に入った「地域資源活用&農商工連携事業」の取組の成果が見えてきました。商品化・販路拡大に向けて、今年こそ商工会女性部ブランドが確立できるよう、パワーアップして参りましょう。

平成二十四年度、「関東ブロック商工会女性部交流研修会」は茨城県で、「全国大会」は京都府で開催されます。多くの商工会女性部と交流して、見聞を広めるチャンスです。多くの女性部員の参加をお願いいたします。

女性部の強い絆が地域で頑張れる原動力となれますように。

平成23年度 提案型事業 実施報告

— 5事業の取り組み —

平成23年度提案型事業実施一覧

幹事商工会	実施体制	事業名
昭 和 町	北杜市・韮崎市・ 南アルプス・甲斐市・ 中央市・昭和町	地域資源を活用した特産品開発事業
甲 州 市	甲州市	女性部員による地域資源を加工した商品開発
中 央 市	昭和町・中央市	女性部経営者セミナー
上 野 原 市	上野原市	地域特産品「酒まんじゅう」継承事業
小 管 村	小管村	特産品活用促進事業（第2ステージ）

若手後継者等育成事業（提案型事業）は、山梨県商工会連合会が商工会組織を通じて行う広域事業であり、今後の地域づくりと将来の商工会活動の担い手となる女性部の新たな活動を探る提案型の斬新な事業を積極的に支援し、地域中小企業の活性化の促進に資することを目的に実施している事業です。

寒干し梅の特産品化 ～安心・安全に配慮して～

中北ブロック商工会女性部

中北ブロック女性部では、昨年度から「寒干し梅」の特産品化に挑戦しています。これは、県女性部連合会の研修を活かし、農商工連携事業として取り組んでいるもので、ことしが二年目。若手後継者等育成事業の助成金を受け、八月には、梅の本場水戸市や食品製造の現場などを視察研修しました。一月には有志による専門の

寒干し梅は、六月の「梅もぎ」から、「シソ揉み」と「漬け込み」、半年以上の熟成期間を経て、一粒一粒丹念に裏返しなが、天日と冷たい空つ風に晒す「寒干し」と大変時間と手間がかかります。

十二月の交流研修会の際に試作品を出品したところ、参加者から好評をいただき、ブロック全員の励みになりました。

今年度の寒干し梅は三月には完成します。四月からは幹事が甲斐市に移り、商品化に向けて本格的な研究、検討がスタートする予定です。請うご期待。（幹事・昭和町商工会女性部長 北爪房子）



シソの葉を1枚ずつ丹念に

女性部経営者セミナー

中央市商工会女性部部长 福田 陽子

今年度、中央市商工会が幹事商工会となり、昭和町商工会女性部との共同講習会を二回にわたって開催することになりました。今一番関心を持ち、景気低迷のところに最も明るい話題といえば、リニア中央新幹線のことだと思えます。今回はリニア中央新幹線について講習会を開催しました。

テレビ・新聞等で毎日のように報道され、誰もがリニアの話題を口にしていました。十一月には、駅の設置場所も決まり、私たちの市に駅ができること期待をしていた住民にとっては大変ショックだったと思います。でも山梨の未来のために夢と希望を持ち、少しでもリニア新幹線についての知識を身につける

為、講習会に参加しました。私たちの山梨県の地域経済が潤う事を多くの人が望んでいると思います。二〇二七年の開業を目指すリニア中央新幹線に夢と希望と活力を運んでほしいと思っています。

開発2年目にして販売へ

甲州市商工会女性部部长 矢崎 千代子

甲州市商工会女性部では、一昨年より地域資源開発事業に取り組み平成二十三年四月より開発品「甲州ころっきー」の販売を開始しました。

販売に至るまでは、部員で試作を何回も重ね種類を一つに絞り決定、製品のネーミングを折り込みチラシで募集、製造所の決定や、商標登録、パッケージ

現在までの販売数は四千個と、順調に売れております。平成二十三年度には新たな商品の試作を進めながら、広報活動として、各種イベントで商品の紹介を行いました。甲州市広報誌の表紙にも女性部活動として掲載して頂き又、十一月発行の商工会やまなしの表紙と「商工会

ありました、部員の総力を結集し甲州市内の「ぶどうの丘」「甘草屋敷特産品販売所」にて販売がスタートし、十二月には山交百貨店地下「ヤマナシ良品」コーナーでも期間限定で販売することが出来ました。



『甲州ころっきー』

販売委託
契約など
苦労した
ところが
たくさん

う作り」の担い手となり、昔ながらの製法を研修・修得し、地域や家庭に持ち帰って伝えていき、上野原名物「酒まんじゅう」を広め、後世に残していこうと



地域特産品「酒まんじゅう」継承事業

上野原市商工会女性部部长 辺見 佳子

上野原では古くから催事の際、各家庭で「酒まんじゅう」が作られてきました。しかし、核家族化や分業化などの時代の変化とともに、一般に技術が伝承されなくなりました。さらに、酒まんじゅう店も後継者問題等の理由で減少傾向にあり、このままでは、地域の食文化の伝承が危ぶまれる状況が迫っています。

「酒まんじゅう」の担い手となり、昔ながらの製法を研修・修得し、地域や家庭に持ち帰って伝えていき、上野原名物「酒まんじゅう」を広め、後世に残していこうと

今後、大きさや形なども考え、研究を重ね、新しい「酒まんじゅう」を提案していくと同時に、「酒まんじゅう教室」を開

催していき、明治・大正・昭和・平成と続いた「酒まんじゅう」を守っていきたいと考えています。



『酒まんじゅう』作りの様子

特産品活用促進事業 ～B級グルメ大会に向けて～

小菅村商工会女性部部长 岡部 清子

小菅村での特産品活用促進事業は、今年度で二年目となります。昨年度は村の新たな特産品であるマコモタケの研究を中心に進めましたが、第二ステージとなる今年度はそれをさらに発展させ、料理専門家の講師により、ヤマメ等の溪流魚、わさび、こんにゃくといった、村に元々ある特産品の新たな提供方法についても研究しました。

特に後半は平成二十四年五月二十六日・二十七日にサマール

ンドで行われる「大多摩B級グルメ大会」に向けての研究に力を入れました。B級グルメ大会には、ヤマメの稚魚を一匹丸ごと唐揚げにし、わさび入りのタルタルソースを添えた「よちよちヤマメの唐揚げ」と、小粒のじゃがいもを砂糖と味噌の煮汁で煮つけた「せえだん坊」の二品を出品する予定なので、それぞれ味、見た目、調理時間短縮の方法等を研究しました。



料理研究会の様子▶

事業のまとめとして、今年度研究した料理のレシピ集の発行の準備を進めています。村に豊富にある特産品を理めれさせてはもったいない！小菅だからこそ味わえる、小菅ならではの味を、これからはPRしていきたいです。



よちよちヤマメの唐揚げ

そこで、女性部が「酒まんじゅう

また、若い人よりも多くの人に「酒ま



平成二十三年といえ
ば三月十一日に東日本を
襲ったあの惨事。他人事
では済まされない状況を
テレビで見た時に、南ア
ルプス市商工会女性部で
もお手伝いできることが
何かあるのではないかと
思い、市の姉妹都市であ
る宮城県多賀城市の多賀
城・七ヶ浜商工会へすぐ
に連絡をしました。やっ
とのことで連絡が取れ、
状況を伺うと支所が全部
流れてしまつたなど想像を
絶する大変な状況だとい

う事が分りました。そこ
で、女性部として何が出
来るのか話し合い、義援
金活動を実施し、市に同
行して現地に伺うことま
した。少ない義援金ではあ
りませんが直接手渡す事が
出来ました。多賀城市の
方々とお会いした時には
涙で話もできませんでした
たがその後、多賀城・七ヶ
浜商工会女性部長より丁
寧なお礼状を頂き、十月
には商工会までお礼に来
て下さいました。災害と
いう悲しい出来事から始

また、毎年実施して
いる事業といえは環境美
化運動の「花植え」です。
特に今年は昭和六十一年
かじ国体の年から実施
している、旧白根地区国
道五十二号線沿いの植樹
活動の功績が認められ、
国土交通省より表彰状を
頂きました。今後も皆さ
んに喜んで頂けるように
活動を続けていきたいと
思います。

今後私達商工会女
性部は「女性部」だから
こそできる地域振興のた
めの活動を実施して行き
たいと思っています。

地域振興をモットーに
活動しています

南アルプス市商工会女性部部长 長澤 よし子



私達河口湖商工会と
道志村商工会、南都留中
部商工会では、毎年広域
商工会女性部交流会を実
施しています。

本年度は、河口湖商
工会が幹事商工会とな
り、研修と交流会を企画
しました。

山梨県警察本部では、
暴力団の排除に関する基
本的施策、青少年の健全
な育成を図るための措
置、暴力団等に対する利
益の供与の禁止を定め、
暴力団の排除を推進し、
県民の安全・平穏な生活

を確保し、社会経済
活動の健全な発展に
寄与するために、平
成二十三年四月一日
に「山梨県暴力団排
除条例」を制定しま
した。

当日は、二十九名の方
に参加していただき、
暴力団の実態や県内
暴力団組織の現状、暴力
団排除活動、暴力団追放
に関する具体的な対応、
薬物事犯と青少年の保護
育成等についてご講義
いただきました。参加し
た部員さんは熱心に研修
していました。

山梨県警察本部では、
暴力団の排除に関する基
本的施策、青少年の健全
な育成を図るための措
置、暴力団等に対する利
益の供与の禁止を定め、
暴力団の排除を推進し、
県民の安全・平穏な生活

を確保し、社会経済
活動の健全な発展に
寄与するために、平
成二十三年四月一日
に「山梨県暴力団排
除条例」を制定しま
した。

当日は、二十九名の方
に参加していただき、
暴力団の実態や県内
暴力団組織の現状、暴力
団排除活動、暴力団追放
に関する具体的な対応、
薬物事犯と青少年の保護
育成等についてご講義
いただきました。参加し
た部員さんは熱心に研修
していました。

河口湖商工会女性部部长 鎌倉 ミチ

健康体操教室紹介

早川町商工会女性部部长 望月 千代子



私達の女性部では五
月開催の総会に於いて決
定し、運動する機会の少
ない現状や健康に関する
資質向上の目的で、町民
体育館に設置された健康
機を活用したトレーニング
教室を実施しまし
た。当初は七月開催予定
でしたが、大雨による台
風の影響により十月二十
日に延期になりました。

当日は七人の参加で
人数は少なかつたです
が、教育委員会の笠井さ
んの指導の元清々しく
進行了ました。

酸素運動と筋肉トレー
ニングを両方するのが良い
ので、十種類あるマシ
ンを順次取り入れて個々
の体力にに応じ、負荷を加
えながらの利用をしまし
た。年齢層も幅広かつた
為それぞれのペースで楽
しみながら実施しまし
た。しばし腹筋をつかう
マシンの前では若い二人
を除く他の参加者は腹筋
がなくな滅です。実際に
が起こせないのです。「
ワッハッハ」と互いの
体力の低下に苦笑せざる
をえませんでした。

これらはほんの序章
ですがこのような状況で
汗を掻き笑いが絶
えず、絆の深まっ
た有意義なひと時
でそれぞれ満足し、
これからも継続実
施して行きたいと
考えています。

女性部活動に参加して

北杜市商工会女性部副部长 坂本 波子



北杜市商工会女性
部は、五支部が合併して
七年になります。部員も
一九九名にまで減少しま
したが、部員増強を目指
し、委員の頑張りや新規
加入者十六名を増やすこ
とができました。

女性部の活動は、奉仕
活動・環境美化運動の一
環として、北杜市の花で
ある「ひまわり」の種時
き参加から始まります。
日照時間が日本一である
明野町には、八十六万本
ものひまわりが咲き誇
り、多くの観光客が訪れ
ます。その種時きは、多
くの団体によって五回に
分けて行われ、長期間見
ることが出来ます。

また、救命救急法講
習会では、日本赤十字社
山梨県支部の指導者の
もと、災
害時の備
え、応急
手当の方
法を学び
ました。
災害の多
い昨今、
この講習はとても勉強に
なりました。緊急時には
少しでも地域の役に立つ
ことができるのではない
かと思っています。

他にも、視察研修
フラワーアレンジメント
講習会など四季折々の活
動がありますが、活動を
通して、お互いの交流を
はかり、お客様とのふれ
あいを大切に、女性ら
しいおもてなしの心を身
につけ、女性部として地
域に貢献できる活動をし
ていきたいです。





1 回目研修会風景

地域資源&農商工 連携セミナーに参加して

葦崎市商工会女性部部長 島津 英子

平成二十一年度より本研修がスタートし、昨年度はブランド戦略や商品管理・マーケティング等を研修し、「売れる商品づくり」の具現化に向けて取り組みました。

平成二十三年度は、本事業の集大成として、昨年度までの成果をさらにブラッシュアップして、完成品へと近づけ商工会女性部の「いっぴん」としてブランド化した商品の販売に向けた取り組みと、女性部活動等のPRを目的に、平成二十三年九月

一日・九月二十日・十一月十一日の三回にわたり実施されました。

私達中北ブロックは、それに伴い昨年度から手掛けてきた『寒干し梅』を「いっぴん」の商品化にすることに決め、今年度は昨年の教訓を活かしながら、梅の数量を昨年の倍に増やして、六月一日の梅もぎからはじまり、七月一日までに灰汁抜き・塩漬け・塩ぬき・本漬け・最後にシソもみ・シソ漬けまで、部員一同和気あいあいのうちに終了しました。

後は、一月まで冷蔵庫で保管し、一月下旬に寒干し作業に入り、三月頃に仕上げる予定です。

その間、九月二十九日には寒干し梅の商品化に向けて「ブロック先進地視察研

修」を行い、根本漬物工場（永戸）・タカノフーズ水戸工場（おかめ納豆）を視察し、食品製造とその安全性について研修し、とても勉強になりました。

また、これからの事業についての大変さを実感させられました。

「寒干し梅」はこれから正念場であり、今の時代は頭で感じ・味わう時代、さらに心で味わう食（心のこもっているものが大事である）との池田先生の言葉でした。

まだまだ、「寒干し梅」を商品化するには、やらなければならぬ事が山積みですが、この機会に一步一步前進して、安心・安全な商品づくりに向けて頑張っていきたいと思っています。私自身この研修に参加して、多くの事を学ばせていただきました。また、大勢の仲間達と同じ目



3 回目
NPO 法人ふえふき旬感ネット
代表理事小河内英紀氏による
活動事例の紹介



一房丸ごと完熟枝干しぶどう

お知らせ
二月二十三日に「中北ブロック寒干し梅委員会」が発足しました。（株）ビジネスナビゲータ池田章先生を委員長に向かえ、十八名の会員が集まり計十九名で、これからの「寒干し梅」の事業を行うことになりました。

関東ブロック商工会女性部 交流研修会に参加して

笛吹市商工会女性部部長 堀内 知恵子

平成二十三年度関東ブロック商工会女性部交流研修会が、七月五日、静岡県裾野市民文化センターで開催され、本県代表の身延町商工会 岡本明実さんの応援と、関東ブロック十商工会代表の皆様が活動発表に期待を持ちながら山梨を出発しました。関東ブロック研修会に参加させていただくようになり、七回を数えます。回を重ねる毎に、内容の素晴らしさ、女性部員が生き生きと活動している様子が

驚かされます。

最優秀賞に輝いた富士市商工会女性部は、私たちも勉強させていただいた農商工連携に取り組んだ、地域振興まちづくりについての発表でした。「生きることは食べること、生命の源」をスローガンに、地元食材の米粉を利用して街のシンボルである紙をイメージした食品「富士山ひらら」麵の開発についての発表でした。会員の鉄工所で造ってもらった平麵機で麵を作



り、商工会レストランで商品として提供できるまでになった。苦労が伝わる内容でした。これを地域の拠り所として、防災食、老人食に進化させていきたいと、夢はどんどん広がって、本当に素晴らしいと思いました。

表でした。他にも、東京代表の今年の震災で被害にあった皆様に対する「駅前ぬくもりステーション」ぬくもりとありがとうの接待活動の取り組みなど、感動する活動発表の数々を学ぶことが出来ました。

今まで女性部活動の中で、私たちは地域振興イコール商品開発と言う意識を強く持つてきました。今回参加したことにより、地域に住む人や、外から街に遊びに来てくれる人達に、「ぬくもり、喜び、感動」を感じてもらえるような、女性にしか出来ない活動もあるのではないかと、改めて考えさせられました。



山梨県代表岡本明実さん

商工会女性部全国大会 inとやまに参加して

身延町商工会女性部部長 鴨狩 ルリコ

平成二十三年十月十三日、十四日の二日間、富山芸術文化ホール オーバード・ホールにおいて、『パノラマ キトキト 富山発！ 素敵な仲間との出会い』と広げよう 伝えよう さらめく明日へ』をスローガンに、商工会女性部全国組織化四十五周年記念 第十三回商工会女性部全国大会 inとやまが開催されました。

富山の花「チューリップ」のピンク色のジャンパー姿のスタッフの皆さんに、にこやかに迎えていただき会場に入りました。

各ブロック五名の主張発表を聞き、考え方や地域の特性等、いろいろ参考になりました。講評で「皆様役者揃いで、吉本から声がかかりそうですね」との審査員の言葉に会場から拍手が

あり、とても和やかな雰囲気でした。

（今回は東日本大震災により、東北・北海道ブロック予選が開催できず、ブロック代表者が選出できないことから審査は行わず、発表者五名に対して「優秀賞」が授与されました。）

また、『立山信仰と越中売薬のこころと知恵』と題して、基調講演がありました。幼いころ、富山の薬売りのおじさんの紙風船を楽しみにしていた記憶が、なつかしく思い出されました。

二日目のエクスカッションは、「おわら風の盆」のステー

ジを鑑賞しました。富山県人の、芯に秘められた強さを感じさせられる音楽と踊りでした。その後、マップを片手に、八尾の街並みを散策。石畳、建物等徹底した管理がされているのに感心しました。

最後に、新湊さつときと市場に寄ったところ、女性部スタッフの方々が待機しており、買い物の手伝いやアドバイスばかりが見送りまでしてくださり、温かい心遣いに感動いたしました。

強行軍で大変ではありましたが、有意義な二日間でした。



商工会
女性部

「ぽかぽか」プロジェクト

報 告

全女性連は、岩手県女性連からの要請により、全国約11万人の商工会女性部員の仲間に「湯たんぽ」と「アイロン」の提供を呼びかけ、東日本大震災で被災し仮設住宅で生活されている皆さんへ、女性部員の「ぽかぽか」あたたかい気持ちと共に「湯たんぽ」と「アイロン」を贈る「ぽかぽか」プロジェクトを実施しました。

東北地方の冬は寒さが厳しく、仮設住宅の暖房器具等是不十分であり、また、降雪時には洗濯物が乾きにくい環境とこのことです。

本県女性部も、バザーの売上金よりアイロン24個、湯たんぽ24個を購入し、被災地に向け発送しました。

全国の女性部員から集まった「湯たんぽ」7838個と「アイロン」1508個は、岩手県商工会女性部連合会を通じ、女性部員の「ぽかぽか」あたたかい気持ちと共に、被災地の仮設住宅で生活している方々のもとへ順次届けられました。

皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。



湯たんぽ 24個



アイロン 24個



岩手県連に全国の女性部から届いた支援物資

商工会女性部全国組織化45周年記念事業

「エコキャップ」回収事業報告

商工会女性部の手により 地球に愛を 子どもに愛を
～ペットボトルのキャップを集めて、世界の子どもたちにワクチンを届けよう～

ペットボトルのキャップを回収する活動を通して、プラスチックの再資源化や二酸化炭素の排出抑制を図り、地球環境を改善するとともに、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る、国際規模での社会貢献事業に取り組むエコキャップ回収事業を推進しました。

ペットボトルキャップのリサイクル活動は、NPO法人エコキャップ推進協会が行っている活動で、リサイクル業者にキャップを購入していただきその代金を途上国の子どもたちのワクチン代として寄付するもので、キャップ800個でポリオワクチン1人分になります。

今回の取組で、約302人分のワクチンの購入費と、国民1人あたりのCo2排出量を約2.7ヶ月分削減することができました。

ご協力ありがとうございました。

■回収期間：平成23年8月～平成24年1月末	
○エコキャップ数量	594.1kg
○エコキャップ個数	237,544個
○Co2削減効果	2006.1kg
○ワクチン	302.2人分

※国民1人あたりの年間のCo2の排出量はおおよそ9tです。(2009年度調べ)



復興応援活動 全国統一「500円玉募金」の取組状況報告

全国統一「500円玉募金」事業は、全国約12万人の女性部員が一丸となって、被災地域における女性部員や女性部活動の復旧・復興の支援を3カ年継続事業として行っていくとともに、地域経済活性化および地域貢献に資する女性部活動に広く活用し、全国規模での相互扶助を図ることを目的としています。本年度は、全国の女性部員の皆様方のご協力により総額36,951,307万円が集まり、使途・配分は表のとおり決定されました。

山梨県においては、680,922円もの募金をお寄せいただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

○平成23年度の取組状況

- (1) 募金額 36,951,307円 ※平成23年9月30日現在
(内、山梨県女性連募金額 680,922円)
- (2) 募金の使途・配分 ※平成24年3月1日現在

①	東日本大震災の被災地域における復旧・復興支援	21,000,000円	700万円×3県(岩手・宮城・福島)
		3,000,000円	「復興応援引当金」の創設(新規)
②	全女性連事業を継続的・安定的に実施していくための引当金	6,000,000円	「災害対策引当金」
		4,000,000円	「創業等助成金事業引当金」
③	新たな「魅力ある女性部づくり」事業の推進に活用	2,500,000円	現在、検討中の新たな事業に活用するための引当金の創設等(新規)
		49,950,000円	

※端数については、今後の入金状況等を勘案し全女性連理事会において協議のうえ配分を決定する。

女性部からの東日本大震災に係る義援金について

東日本大震災に係る義援金につきましては、全国の女性部員の皆様方並びに関係各位の多大なるご支援・ご協力により、平成23年12月末現在で総額49,950,000円の義援金が発生され、被災地県連宛送金されておりますのでご報告いたします。

皆様方のご尽力に対して、改めて厚く御礼申し上げます。

義援金 49,950,000円

※平成23年12月末現在

(山梨県女性連義援金 1,049,178円)
※平成24年3月1日現在

県連名	送金額
岩手・宮城・福島	各 13,500,000円
茨城	5,250,000円
千葉	1,050,000円
青森	900,000円
栃木・新潟・長野	各 750,000円
合計	49,950,000円

全国の商工会全体の義援金額
936,932,574円(3/28現在)

第15弾

女性部経営者インタビュー

今回は、富士川町商工会女性部の

「みづくちや呉服店」を営む

深澤通子さんにお話を伺ってきました。

INTERVIEW



こちらの事業所は、いつ頃から始められたのですか。

明治十七年に創業し、今年で百二十八年になります。私達夫婦で、三代目。

今は、ミセスの洋服を中心に木綿やキルティング・レース・紐などの洋裁関係の商品や毛糸など、手芸用品を多種取りそろえておりますが、私が嫁いで来た頃はその名の通り、『呉服店』でした。お店には、5人の使用人がいたんですよ。

呉服の他にも、洋服(男性用・女性用)や子供服があったり、ひな人形や五月人形といった季節商品も店内に並べられました。

いまでこそ、店の前の国道五十二号は閑散としていますが、昔は旧鯉沢町まで続く大きな商店街で人の往来が沢山ありました。



通子さんは、いつから事業を引き継がれたのですか。

主人が亡くなり、このお店を引き継ぎました。今年で九年目になります。「お店を閉めたら…」という声もありましたが、沢山のお得意様もいらつしやうたし、自分ができる範囲でお店を守っていこうと思いついて今に至っています。

また、今日まで続けられたのも、何よりもお得意様の支えがあったからこそなんです。

それに『コーラス』。コーラスが趣味なんです。コーラスは私にとって生きがいであり、かけがえないもの。皆で合唱していると嫌なことも忘れてしまうんです。

コーラスがあったから、主人を亡くした寂しさから立ち直ることができました。好きなことがあると仕事にも張り合えますね。

やりたいことは沢山あるんですが、コーラスがおろそかになってしまっているので、コーラスだけにしています。

【インタビュー情報】
深澤さんは、富士川町の「あやめコーラス」の代表を務めています。

以前河口湖ステラシアターで開催された由紀さおりさんのリサイタルでバックコーラスを務めたり、またシドニーのオペラハウスでのコーラス経験もある方です。

仕事をやる上でのこだわりはありますか。

常に笑顔でお客様と接することですね。また、一つでいいからお客様を褒めること。そこからお客様とのコミュニケーションが生まれてきます。あと、お店のお花は絶やさないようにしています。(シヨウウインドーには、深澤さんが活けたお花が飾ってありました。)

経営者になって良かったことは。

自分なりの経営ができること。例えば、お店にはお買い求めいただきやすい商品を置きませんが、展示会では、4〜5社のブランドを選び販売します。

プロフィール Profile 富士川町商工会 深澤 通子 (ふかさわ みちこ)

みづくちや呉服店
和装用品・ミセス用品・エプロン
もめん布・キルト布地・手芸用品

●定休日 不定休
●営業時間 9:30～19:00
●住所 南巨摩郡 富士川町青柳町 487-2
●電話・FAX 0556-22-0306

女性部に入って良かったことは。

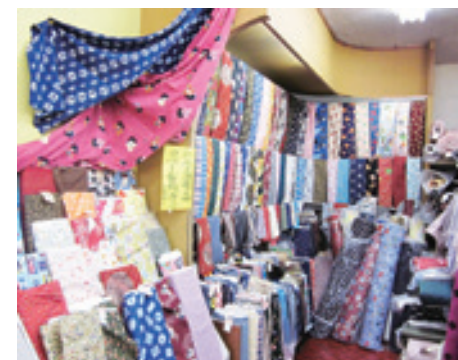
イベントや女性部活動へ参加する事によって、仲間が増え情報交換ができますしとても楽しいですね。

これからの目標は。

健康で少しでも長くお店を続けることが目標です。

みづくちや呉服店の「いっぴん」は。

「木綿布」こそ、みづくちや呉服店のいっぴんです。



受賞おめでとうございます

平成二十三年度の表彰

十一月二十四日、東京・NHKホールにおいて、『第五十一回商工会全国大会』が開催されました。

また、十月十三日、富山市芸術文化ホールオーバード・ホール（富山県）において、『商工会女性部全国組織化四十五周年記念第十三回商工会女性部全国大会inとやま』が開催されました。

両式典の席上において功績のあった部及び個人に対して、各種表彰が授与されました。県内女性部からの表彰は以下のとおりとなりました。【敬省略・カッコ内は商工会名】

第五十一回
商工会全国大会
全国連会長表彰

*優良女性部
富士川町商工会女性部

商工会女性部
全国組織化四十五周年
記念式典

*全国商工会女性部連合会長表彰
*女性部功労者

永井 裕子（富士川町）
若林 美三江（南部町）
海野 文子（富士川町）
大柴 節子（河口湖）

生活 お役立ち 情報

低体温症を 予防しよう!!

市川三郷町商工会女性部
部長 望月 京子

まだ寒い日が続きますね。
ところで、みなさんは低体温が多く体調不良の原因になっていることをご存じでしょうか？

体温が下がると免疫力が低下し、あらゆる病気にかかりやすくなります。現代人は、冷房の効き過ぎた部屋でペットボトルの水をごくごく飲み、入浴はシャワーで済ませ、歩かずにタクシーに乗り、ストレスを抱え、知らず知らずのうちに体温を下げる生活をしています。

そんな私たちのために、体を温める食べ物の代表として生姜があります。生姜は、漢方薬の70%以上に使われています。生姜紅茶、生姜湯など、生姜レシピはたくさんあります。生姜を食べると体がぽかぽかして幸せな気分になります。

「生姜」を温め食材として生活に積極的に取り入れ、明るく過ごしたいですね。



部員増強運動を 実施

本年度も組織強化と帰属意識の高揚を目的に、平成23年9月1日～12月31日までを『県下統一加入促進強化期間』とし、純増3%アップを目標に部員増強運動を実施しました。

強化期間の成果は、新規加入者数70名、純増者数58名で純増率2.9%となりました。

なお、強化期間内の成績優秀な女性部とブロックに対して、平成24年度の県女性連通常総会の席上で表彰を行います。

全国の全女性部員が持ってます

商工会女性部手帳の全部員必携率100%達成のため、今年度も女性部が実施した「バザー」の売上金で県下全女性部員の手帳を購入しました。

また本年度は、全ての都道府県女性連が必携を達成しました。

- ◆平成23年度
女性部手帳購入数2,132冊
- ◆県下女性部員の必携率
106.6%

女性部手帳の収益金は、女性部の皆さんの事業費に活用されております。

女性部手帳を 活用しましょう

- バックにも入れやすい文庫本サイズ
- お仕事等の予定や出来事、家族の誕生日や記念日、また備忘録としても

Editor's Voice

編集後記

昨年は、東日本震災があり特別な一年となりました。私達女性部も、被災者の皆様には「五百円玉募金」「商工会まつり」でのバザー売上金による「ぽかぽかプロジェクト」などさまざまな活動により大変喜ばれております。

これからは、『絆』の時代と言われると思いますが、私達女性部も地域地域の宝石箱を活かし、育てて行く取組みを今以上に進めて行き、辰年の今年は、昇り竜の如く共に希望のある明日へ歩んで行きたいと思います。

「ほほえみ」発行にあたり編集委員並びに関係各位の皆様には心より御礼申し上げます。

女性部広報編集委員会
委員長 河内 晶さ子

《編集委員》

委員長 河内 晶さ子
(県女連副会長・南都留中部)

委員 河野 勝恵(山梨市)
矢崎 千代子(甲州市)
堀内 知恵子(笛吹市)
鴨狩 ルリコ(身延町)
望月 京子(市川三郷町)
高橋 京子(富士川町)
小宮山 ひろみ(北杜市)
長澤 よし子(南アルプス市)
島津 英子(韮崎市)
志村 ひさ子(都留市)
鎌倉 ミチ子(河口湖)
原田 重子
(県女連会長・甲斐市)